

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野
学籍番号	16S3054	院生氏名	堀内俊樹
通学キャンパス	東京赤坂キャンパス		
論文題目	小学生野球肘検診における理学所見の精査と離断性骨軟骨炎を抽出するための新たな評価指標の開発		
審査結果(枠で囲む)	合格 不合格		
<p><審査結果の要旨></p> <p>本研究の目的は、小学生の野球肘検診における理学所見の精査と離断性骨軟骨炎（OCD）を抽出するための新たな評価指標の開発である。対象は、OCDを発症しやすい小学校4年生から6年生の361名とした。</p> <p>方法は、理学所見は肘関節の痛みと可動域、ストレステスト、堀内テスト（H-テスト）、エコーでの上腕骨小頭の骨形態を確認した。統計学的検討では、OCDの有無と各理学所見の有無の関係性をχ^2検定、理学所見の予測精度をROC解析にて分析した。</p> <p>結果、OCDの進行期では、エコー、H-テストにて陽性と有意な関係を示した。</p> <p>本研究の成果より、OCDの進行期におけるH-テストの臨床的有用性が明らかとなり、今後の野球肘検診に貢献できた。</p> <p>本研究の新規性は、筆者が開発したH-テストを加えた野球肘検診にて、OCD発見のためのサインと発症の予防に繋げることのできる精度の高い理学所見の評価項目を抽出する点であり、OCDの予防に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>審査会は1回開催し、初回審査で、意義と背景、検査法について詳細に説明など11項目について論文の修正を求めたところ適切に修正された。</p> <p>口頭試問において適切に応答した。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士（保健医療学）の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主査	丸山 仁司	
	副査	糸数 昌史	
	副査	室井 健三	